

3兄弟で空手大会優勝

田中昂輝くん・竜輝くん・響輝くん



全日本空手道尚武会が主催する、「東海地区少年少女空手道大会」。東海3県と静岡県下の支部に所属する選手約200人が競ったこの大会で、町内の3兄弟が快挙を成し遂げました。

今回は、兄弟で見事優勝に輝いた田中3兄弟にお話を伺ってきました。

3兄弟での快挙

5月5日、愛知県武道館で開催された「第37回東海地区少年少女空手道大会」で、諸輪中学校と諸輪小学校に通う田中兄弟が、1位を獲得しました。中学2年生の昂輝くんは、組手の中学校2・3年生(茶・黒帯)部門、小学6年生の竜輝くんは、組手の小学校5・6年生A(茶・黒帯)部門と、形の小学校5・6年生A(茶・黒帯)部門で優勝。そして小学3年生の響輝くんは、組手の小学校3年生(白・橙・黄帯)部門で勝利を手にしました。

兄弟での練習

昂輝くんが空手を始めたのは年中のころ。「お姉ちゃんに誘われたから始めた」と話します。弟の竜輝くんと響輝くんも、昂輝くんがみるみるうちに才能を発揮するのを見て、それぞれ年少と小学2年生のころから習いだしました。

兄弟が所属するのは、全日本空手道連盟下の剛柔流「尚武会」。昂輝くんと竜輝くんは、土日にそれぞれ3時間、響輝くんは日曜に2時間練習しています。しかし、努力家の3兄弟は、家でも練習に励みます。大会が近づくと、形を一通り行うそうです。お兄ちゃん二人は「響輝に教えることもあるよ」と話し、仲の良さがうかがえました。

敵なしの二人

大会は、組手と形の種目があり、トーナメント方式で行われました。男女別学年別で、帯の色でも部門が分かれています。今年で37回目を迎えましたが、昂輝くんはこれまで8回出場。そのうち組手部門ですべて優勝しました。今回の大会でも、相手に1ポイントも与えず、パーフェクトで試合を終えました。

竜輝くんは、6回目の出場で5回優勝。同じく1ポイントも相手に譲ることなく優勝し、組手と形の両部門で快挙を成し遂げました。

初出場で初優勝

一方響輝くんは今回が初めての大会。小学3年生の中では小柄な体格で、苦戦を強いられました。準決勝では、相手の



技が顔に当たり、泣いてしまった場面も。お母さんは「試合を続けられないかもしれない」と思ったそうですが、お客さんが拍手をしたり、「立て」と声援をくれ、勝利を手に入れました。

続く決勝戦の相手も頭一つ身長の高い選手で、判定までもつれ込みましたが、なんとか勝利しました。お母さんは「負けると思いましたが、向かっていく気持ちが強かったようです。とても感動的な大会でした」と、初優勝を褒めました。お兄ちゃん二人も、「響輝は初戦に勝てれば上出来だと思っていたから、びっくりした」と、響輝くんの勝負強さを称えました。

目標は連覇

今後の目標を尋ねると、昂輝くんは「この大会に出られるのは中3まで。来年必ず9連覇を成し遂げる」と力強く語ってくれました。同じく竜輝くんと響輝くんも「優勝すること」と口をそろえます。今後も田中兄弟の活躍から目が離せません。